

音楽 I

(017教出・音 I 001・音楽 I Tuuti)

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接回数 **8**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
目標に向けての具体的な取り組み	「歌唱」「器楽」を活動の中に多く取り入れ、各曲への深い理解と愛情を育てながら「創作」「鑑賞」の四つの分野を含む学習を進める。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(領域)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	評価方法
				回数	期限		
4月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・曲種に応じた発声の工夫をすると共に各人の個性に応じた発声の工夫を目標とする。 ・視唱力の伸長については、最小限の読譜能力を養う。 ・歌詞及び曲想の把握と表現の工夫は、あらかじめ与えられた課題についてイメージを持ち、多様な表現を身につける。 ・合唱における表現の工夫は、技術を競うのではなく、一体感のある音色、各声部の全体的な調和に関心をもち協調性のある態度を身につける。 	音名・音楽用語について。リコーダー奏法1。拍子について	No.1	5/31	5/5	レポート・面接授業を通して観点別に項目を設け評価する。
5月			音楽形式について。音階について1。ギターに親しむ1。	No.2	6/30	6/16	
6月							
7月							
8月	器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・一体感のある音色・各声部の全体的な調和に関心をもち協調性のある態度を身につける。 ・色々な楽器の体験と奏法に即した姿勢・呼吸法を工夫する。 ・視奏力の伸長を計る。 ・曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫は、曲のヤマ場が、どこにあるか見つけ、そこへ向かって各自の感情を高めることを学ぶ。 ・合奏における多様な表現を工夫して行う。 	音階について2。調性について1。	No.3	7/31	9/1	レポート・面接授業を通して観点別に項目を設け評価する。
9月			リコーダー奏法2。日本の民謡。日本の伝統音楽について	No.4	8/31	10/6	
10月			創作	作曲について1。調性について2。	No.5	9/30	
11月	作曲について2。ギターに親しむ2。写譜について。	No.6		10/31	1/5	レポート・面接授業を通して観点別に項目を設け評価する。	
12月 1月	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・声や楽器の特性と表現上の効果に留意して聴く。 ・楽曲の歴史的背景を理解した上で古典に耳を傾ける。 ・我が国の伝統音楽の種類と特徴を研究することで、どんな楽器があるかを把握する。 ・民俗音楽を聴き比べ、世界の諸民族の音楽の種類と特徴を聴き比べる。 	・一年間の復習(リコーダー&ギターを中心に)				1/12

※スクーリングで使いますので、ソプラノリコーダーかアルトリコーダーを準備してください。

※音楽教室はスリッパ禁止です(じゅうたん敷きのため)。寒いと思ったら、専用の室内履きを用意してください。

3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	音楽に興味・関心をもち意欲的に音楽活動しようとする。
芸術的な感受や表現の工夫	音楽のよさ・美しさを感じ取る力を伸ばし創造的な音楽の表現を工夫する。
創造的な表現の技能	自分のもつイメージを表現するための能力を身につけさらに表現できる力を養う。
鑑賞の能力	様々な音楽への理解を深め美しさを楽しむ。